



教 成 館

関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るい子ども
- きまりを守り、助け合う子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

かわいい 来年の 1 年生がやってきました

先日、来年 1 年生になる、2 つの幼稚園の園児が一関小学校にやってきました。

11 月 8 日（水）は幼稚園と小学校の交流事業で、一関幼稚園の年長児の中で来年度一関小学校に入学予定の 13 名がやってきました。



【おちゃらかホイ】



【じゃんけん列車】

当日は、3 校時に 1 年 3 組の子ど

もたちと手遊びや歌、ゲームでの交流を通して就学への関心を高めました。園児は、1 年生が普段の学習で行っている手遊びや歌やダンス、お話を聞く時の合図など、1 年生の真似をしながらみんな楽しく活動することができました。幼稚園児の前でお兄さん、お姉さんぶりを発揮した 1 年生でした。



【モザイクアートの前で】



【1 年生教室の中で】

11 月 14 日（火）には、愛心幼稚園の年長児約 30 名が、一関小学校の校舎見学にやってきました。園児は、校舎を歩いて回りながら、1 年教室での学習の様子や、図書室や理科室、音楽室などの特別教室を見学しました。中でも、視聴覚室のモザ

イクアートと理科室の人体模型には興味津々でした。幼稚園の子どもたちにとって、4 月からの小学校生活に対する不安を和らげ、期待に胸膨らませるとてもよい機会となりました。

「咲かせよう！関小ふわふわ言葉の花」

児童会では、11 月、「ふやそう！ふわふわ言葉」に取り組んでいます。「ふわふわ言葉」とは、言われて嬉しくなったり、元気が出たりする言葉を言います。

取組では、学級ごとにふやしたい「ふわふわ言葉」を決め、その言葉を 1 日 2 回以上言った人は、花に小さな赤いシールを貼っていきます。体育館に通じる渡り廊下に貼られた「ふわふわ言葉の花」は、どんどん真っ赤になっていきます。各学級で決めた「ふわふわ言葉」の中で圧倒的に多いのが「ありがとう」です。ありがとうの言葉の前には、必ずありがとうと言われる行いがあるということなので、この言葉を増やそうとしていることはとても価値のあることだと思います。

「ありがとう」の言葉が、学校でも、家庭でも、地域でもたくさん聞かれるといいなあと思います。

